



あさひ

横浜市立旭小学校 SINCE 1901

令和5年6月
学校だより



来た！ 見た！ 勝った！ 4年ぶりの大運動会

副校長 岩元 カオリ

5月27日(土)五月晴れの空のもと、4年ぶりに全校が一堂に会しての運動会を開催することができました。旭小ではこの3年間「ペア運動会」として2学年ごと入れ替え制・参観者の人数を制限しての運動会を実施してきたのですが、今年の運動会は、始めから終わりまで子どもたちはずっと校庭にいて、保護者様・地域の方々の見守る中、これまでの練習の成果を発揮し自分の力を出し切ろうと精一杯取り組みました。

実は私自身は、運動会の思い出はあまり多くはありません。リレーの選手で運動会の花形だった姉のかげで、のんびりと過ごしていたのではないかと思います。転機が訪れたのは5年生のときです。入っていた委員会のわりあてで係がありました。開・閉会式に関わり、役目を果たそうと力を入れて取り組みました。はっきりしためあてをもつことで自分たちが運動会をつくりあげている、と実感することができました。

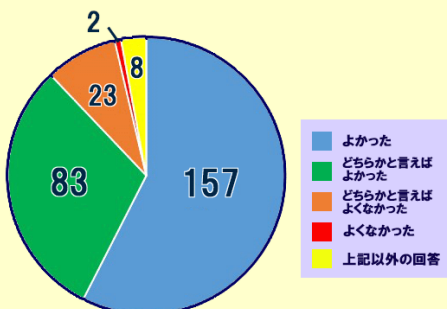


あさひっ子たちは違います。入学からわずかふた月の1年生であっても、一人一人が運動会に自分のめあてをもって取り組んできました。それぞれが運動会で身に付けたいこと、努力していることや見てほしいことを考え、言葉にし、そのためにどんなことをしたらよいかを考え、実行してきました。友達と競争する種目もありますが、本当に勝ちたい相手は「昨日までの自分」です。運動会までの日々を子どもたちは切磋琢磨しともに大きく成長してきました。そして迎えた運動会当日、一人一人の頑張る姿を、同じ時、同じ場所、旭小に集った3000人近くの人々と、ともに見合い、分かち合うことができました。やった！とガッツポーズをする子、悔し涙を流す子、それぞれドラマはありましたが、最後には、やりきったすがすがしいものを感じました。ラストを飾る6年生のソーラン節ではその迫力に魅了され、応援席のあちこちで踊り始める下学年の姿がありました。「いつか6年生になったらあんなふうになりたい。」他学年の演技を見ることのできた今年の運動会は新たなめあてをもつ場ともなりました。

この3年間、途切れることのないよう、必死につないできた「旭小学校の運動会」というバトンを、やっと確かな形で未来へつなげることができました。これからも旭小学校が多くの笑顔の集まる場所であるように、これまでのものをなぞるだけでなく、子どもたちとともに新たな物語を紡いでいきたいと思っています。

★速報 運動会アンケート★

5月30日 9:00現在、273件の回答をいただいています。



詳細については、改めてお知らせします。いただいたご意見をもとに、次年度の計画を検討していきます。

運動会アンケートへのご協力ありがとうございました。

水泳学習 当日手続きの変更について

本年度の水泳学習につきましては、6月19日より9月19日の期間に実施します。

その際、当日の手続きにつきましては、昨年度までは、学習開始前に期間内全体の参加承諾をいただき、水泳学習当日には、お子さんの朝の体調を確認して承諾をいただいております。今年度においては、学習前の承諾書によって、期間内全体の参加を承諾していただいたものとし、当日朝の押印を省略いたします。体調不良等で参加を見合わせる場合のみ、連絡帳等でその旨をお知らせください。

なお、お子さんの登校後に体調がすぐれない等の理由が生じた場合は、お子さん本人の申告で参加を見合わせることも可能です。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。